

ダリマナ

～ 南の風 ～

校長室日記

平成31年4月5日(金)

第1号

『至誠通天』 (誠を尽くせば 願いは必ず天に通じる)

『至誠通天』という四字熟語は、この「ダリマナ」を通して何回も紹介して来ましたが、中国の儒学者・孟子の言葉です。「至誠天に通ず(しせい てんにつうず)」というのは、至誠とは極めて純粋なまごころのことを言い、「誠の心を尽くして行動すれば、いつかは必ず天に通じ認められる」という意味です。



平成31年度のスタートに当たり、常南小の児童の皆さんに「至誠通天」の言葉を贈りたいと思います。すべての物事に全身全霊で真剣に取り組んで、自分の人生に対して誠実な対応をする。とても大切な意味が込められ、ぜひとも「座右の銘」にしてほしいと思います。

「誠を尽くせば 願いは必ず天に通じる」…、つまり何事においても、一つ一つの課題に誠実に取り組み、精一杯の努力をすれば、必ず願いは叶うという教えです。

「ぼくの大切な学校」

近藤 祥暉君 (平成30年度卒業生)

僕たちが通っている小学校には他の学校と違うところがあります。行事などでいうと、「わらびご飯」「田植え」「感謝の会」などです。これは地域の人と仲が良く、自然が多いこの常南だからこそできることだと思います。これはやろうとすれば簡単にできることではないので、この経験を大事にしたいです。これからもこの自然がいっぱいの常磐南であってほしいです。

常南の子どもたちは、本校の特色を生かした稲作体験や自然薯栽培といった自然体験活動や、雅楽・和太鼓などの伝統文化が継承を大切にしながら、地域の人々とのつながりが強く、子どもたちも地域の一員であるという意識を持てるような機会に恵まれています。卒業式の式辞でも紹介しましたが、子どもたちはこの自然に恵まれた常南学区の良さを知り、誇りに感じていることがわかります。常南を思いやる心が、岡崎、さらには日本という国を愛する心になり、やがて人類愛を抱くことにつながっていくのではないのでしょうか。

本年度も、こうした活動を核にして、子どもたちの社会性を育て、また学区の自然、伝統、産業を活用した追究活動を展開していけば、子どもたちは学区の良さや問題点を把握していく中で、主体的に考え、学習する子どもを育てていくことができるように思います。

こうした思いを持って、常磐南小学校の子どもたちの確かな、そして健やかな成長のために一人一人の子どもを大切にしつつ、創意工夫を加えた教育活動を目指して邁進していきたいと考えています。どうぞ、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

♥ Happy Birthday 4/1…志賀 桃音さん 4/3…本井 大惺君 4/3…神谷 優那さん
4/7…田中 千朗君